

日刊 磐城時報 編輯部 印刷部 發行部 電話 磐城 四一四 印刷部 四一五 發行部 四一六

信用組合を中心として 玉川村揉める

政友派永瀬百人氏等は 舊組合の解散を叫ぶ

石城郡玉川村信用組合は永井億彌村長當時に於て民政派野崎喜代松氏等が永井村長に反対する

震災追悼會

石城郡四倉町では九月一日役場三妻鈴木フミ(三三)が二十八日平町田町を行商中一貫金を七百

新山の實父殺し

三郡最初の陪審裁判 寛は性運鈍且つ酒癖あり、妻の母有本サツ方から五十圓、

釜屋で更に 二百圓寄附

平町釜屋商店諸橋久太郎氏は過般亡父の遺志により金一千圓を

梨の品評會

平窪村農會主催 石城郡平窪村農會では来る九月七日午前八時から平町石城各種

少年が三人組で 海水浴場荒し

夜は旅館で浴客を装ひ 晝間悠々泥棒

石城郡四倉町中野捨與方(四)何れも假名の三名で、自由捕されたときには現金百圓を所

再び三夫婦が双生児

今度は福島炭礦で 食品を詐取

石城郡小川村に於て過般同字で三組の夫婦が双生児を産んだ事



下の関を 田巻、長瀬、綿引三君の自轉車旅行

隨分僕等は此の須賀川町で泊らうかと思つた。それに午後の六時だ、ハタと工場、工場の喧嘩も止んで、町へ村へ

相馬支局通信

原町地方の秋蠶 原町地方に於ける初秋蠶は目下

原町の七夕祭り

二十九日は舊七月六日(七夕祭り)の事にて原町旭町にては特

原町通信

▲原町の七日盆

三日は舊七日盆として同町下町組は二十九日、三十日の兩盆踊りを舉行したが、非常に賑やかであつた、一方原町駅前大廣間に於ては三十日晚、山なす賞品を積んで懸賞盆踊りをやつたので相當遠方の在方から態々踊りに來たものも多く、さすがに廣き場所も七重八重と輪をなして踊り子と見物人とて立錫の余地なき大盛況であつた。

▲原町常設館便り

原町旭座にては二十九日より四日間實川延松、松枝鶴子熱血主演「怪談因果草紙」封切十卷其他興行、入場料大人二十錢小人十錢である。

暑中休暇

学校の暑中休暇も終りに近づいて來た、海に、山に、或は故郷に、靜かに氣を養つてゐる學生もソロソロと歸り仕度にかゝつたことだらう。學生達に取つてはこの三十日乃至七十日に亘る暑中休暇は楽しいものに違ひなからうが、これは果してそれ程に必要なものであらうか、それを一ツ考へて見ようかと思ふ。

夏休みの必要といふ方面からの議論は暫らく措くとして一方から観ると、こんなに長く休ませる必要があるだらうか、休ませるために勉強の緊張を弛ませるやうなことはあるまいか、こんな事は一ツの研究題目にならないだらうか、遊んでゐると遊び癖がついて、その當座は仕事を手につかぬといふことは我々大人でも常に経験してゐるところである、暑休の後に學生の勉強心が弛むといふ様なことはな

優勝旗圖案

懸賞募集

今秋本社主催で舉行する磐城中學校對平商業學校野球對抗試合に用ふる優勝旗圖案を左の如く募集します。

- 一、用紙は圖書用厚紙
一、優勝旗の型は隨意
一、締切、八月三十一日
一、採用のものに謝金を贈る

磐城時報社

謹告

私儀慢性中風症にて半身不隨となり四ヶ年、その間醫療は勿論、凡ゆる方法を試みたにその効果なく全く前世よりの縁因と諦め居りました最近平町田町福山靴店隣に蔓性諸病療界の權威エチエヌライト實驗所藥生堂光線科院の開院を聞き僥倖を期し同院の光線治療を請ひ二週間程治療を連続致した處その効果著しく前記の如く四年間凡ゆる療法で効果がなかつた私の中風症が一日一日と効果を顯はし、治療前は室内も自由に動けなかつた身體が昨今では治療所まで自由に通院が出来るやうになり、今後一ヶ月も引續き治療せば暗夜に光明を認める如く恢復する事を確信し一意専心治療に従事して居ります元々この治療法は普通一般の電氣療法とは根本的に異なる學理的線療法なるは勿論人體構成上密接なる作用を興へ、而も何等不快の念なく治療するもので諸病者にして救はれたるもの枚舉に遑あらず、殊に胃腸、婦人病、動脈硬化症、神經痛、脊髄、ウマチス、ルイネキ等蔓性諸病に効果著しく之等諸病に悩む人々は速に同院の治療をうけ、その苦惱を除かれるや、私の實地効果により罹病者各位に御薦め致す次第であります。

藤市號 遠藤市松

平町人事

▲出生 新川町二九鈴木利助四女チヨ子
▲死亡 紺屋町鈴木リツ(一)
一丁目松本七郎(二四) 銀治
町横山顯瑞(八二) 田町富田濱夫(一九)

寶鐸院新盆に相當り候へ共提灯、其の他の供物御贈與を一切御遠慮申上候間御諒承願上度失禮乍ら以紙上謹告仕候
平町 字 田町 森本盛一

謹啓照清院新盆に相當り候へ共故人の遺志に依り提灯供物等一切乍失禮御辭退申上候 敬具
昭和五年舊七月 松本 龜 吉

亡妻新盆の處時節柄提灯其他の御供物一切乍失禮御辭退申上候
平町 市原卯太郎

亡父重雄儀新盆に相當り候へ共緊縮の折柄供養提灯並に供養料其他一切の御贈與を甚だ勝手な數候へ共絶對御辭退申上候間不惡御承知被下度願上候
昭和五年八月 平町 字 鍛冶町 酒井 一郎 後見人 酒井秀治郎

法授院新盆に相當り候へども時節柄提灯その他の御贈與等甚だ勝手ながら御辭退申上候間惡しからず御承引被下度願上候
平町 古鍛冶町 水野虎三郎

謹告
亡兄昌新盆に相當候へども甚だ勝手乍ら一切の御贈與一切御辭退申上度此段御願申上候
平町 字 三丁目 山田勇太郎

棟岳院今年新盆に相當り候處時節柄提灯、供物其の他の御贈與御辭退申上度、甚だ勝手乍ら以紙上御通知申上候
平町 字 一丁目 飯田近治

天瑞院新盆に相當り候へ共時節柄提灯其の他の御贈與御辭退申上度、甚だ勝手乍ら以紙上御通知申上候
平町 田町 松月堂 金子重次

二葉印刷所
平町 字 仲町 電七三四

吉田眼科病院
平町 紺屋町 電話 六八番